



# INTELLAPATCH®

インテラパッチ

## レイヤ1 スwitchング ソリューション

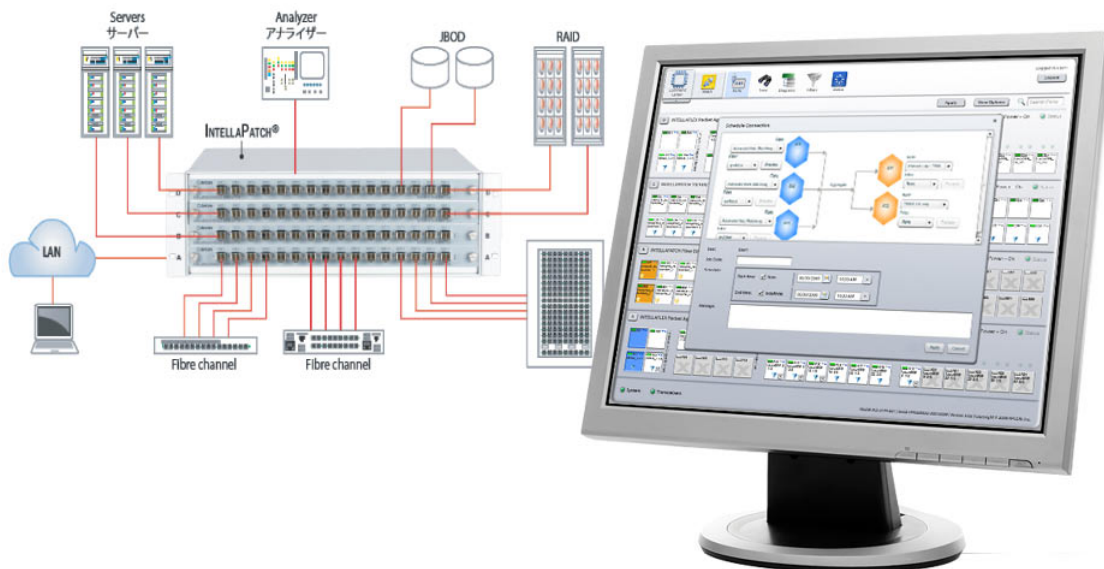
# レイヤ1レベルでの通信経路の 接続・切断・切替を、遠隔より実現。

収容するライン上のデータを、監視ツールへモニタ出力可能。



写真は、INTELLAPATCH Series 3000です。

INTELLAPATCH インテラパッチ は、ネットワークの通信経路を遠隔より任意に切り替える事が可能な、物理層レベルのマトリクス・スイッチです。本装置は、レイヤ1レベルのスイッチなので、収容ライン上のハイレイヤのパラメータ（例えば、L2/3のアドレス等）を意識する必要がありません。通信経路の切替は、ブラウザベースのユーザインタフェースより、任意のポートを選択するだけなので、トポロジーの変更が極めて容易です。また、接続されたポート間の通信データを、別のポートに転送する機能を備えているので、各種モニタ装置の運用にも威力を発揮します。

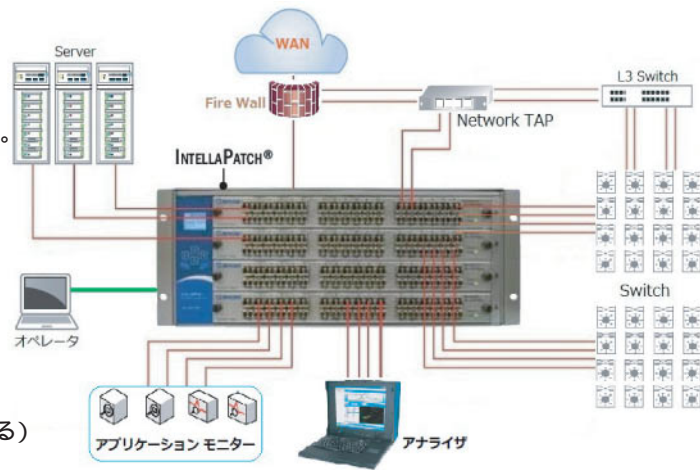


APCON WEB X

INTELLAPATCH全機種に搭載：Internet Explorer Netscape Mozilla Firefoxなどほとんどのブラウザから使用でき、OSに依存することなくGUIで制御、監視が行えます。

## NTELLAPATCH インテラパッチ の特長

- ・ラインレート性能を持つマトリクス・スイッチ。
- ・上位プロトコルに依存しません。
- ・対接続、対Nのマルチキャスト接続、ループバック接続。
- 任意のポート間のトラフィックをモニタするTAP接続。
- 最大 288ポート/筐体 の高密度実装。
- 各種インターフェースプレートを用意。
- Ethernet(10M/100M/1G/10Gbps)
- ファイバーチャネル(1/2/4/8Gbps)
- SONET(OC-3/12/48) T1/E1/J等
- ・インターフェースプレートはホットスワップが可能。
- ・メディア変換機能。(同一のプロトコル/伝送速度時に限る)
- ・WEBブラウザによる制御、監視が可能。
- ・TELNET/シリアル通信でのコマンドライン制御、監視が可能。
- ・Perl, Tcなどのスクリプトを用いた自動運転に対応。
- 複数のユーザーによる同時使用に対応。
- ・SSLやSSHをはじめ、4段階のユーザー権限の設定、ユーザーごとのアクセスポート制限、ポートロック機能。
- 最大 99パターンまでのプリセットが可能。複雑なトポロジーもワンクリックで確実に変更。
- 電源二重化、筐体温度と電源状態の監視など高信頼設計。



## NTELLAPATCH インテラパッチ の利用シーン

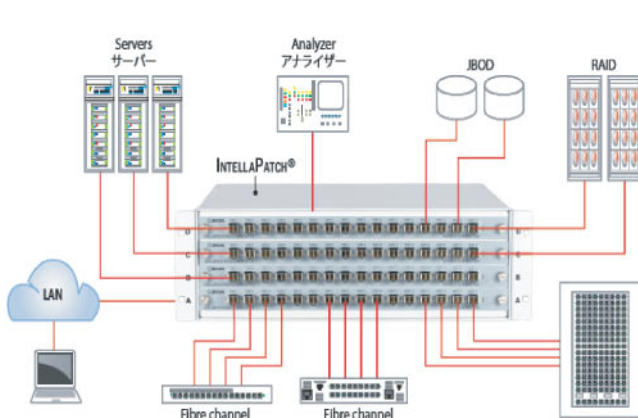
### ラボ環境で

- ・パケットアナライザ、ジェネレータ他テスト機器の共有
- 開発環境やテストベッドの共有
- 開発環境ごとの複雑なトポロジーをプリセット登録、シーンに合わせてワンクリックで変更
- 接続、切断、瞬断などのシミュレーション
- 複数のアナライザに同一信号をマルチキャスト
- ・1台のトラフィックジェネレーターからの信号を複数ポートにマルチキャスト
- 同一速度信号のメディア変換
- (例 1000BaseSX 1000BaseT)
- 試験目的に合わせた効率的な機器構成の実現

### エンタープライズで

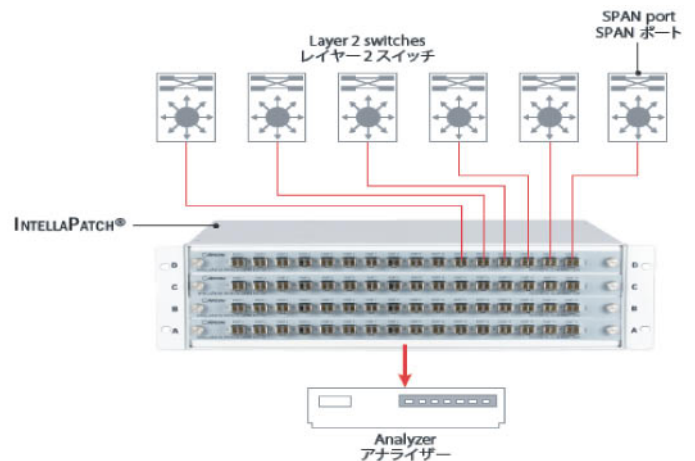
- 物理的な経路変更、切断によるセキュリティの確保
- 障害発生部位の確実な切り離し
- 複数のDS、ロガー装置への必要に応じたマルチキャスト接続
- 物理レベルでのアクセス制限
- 予備機へのスムーズな切替
- 物理パッチパネルでの接続変更が不要
- 遠隔から容易に接続変更が可能
- ポートネーミングやポートクラス機能で誤接続を防止
- ・4段階のユーザー権限機能、ポートロック機能、ポートグループ単位でのアクセス制限機能で、ネットワークトポロジーを安全に維持

## NTELLAPATCH インテラパッチ の利用イメージ



### 利用イメージ 1

ネットワーク・リソースの接続経路を一括管理 制御します。ネットワークの状況に応じた各種リソースの切断 接続 経路の切り替え、また必要に応じたモニター機器の接続等を集中的に実施することができます。



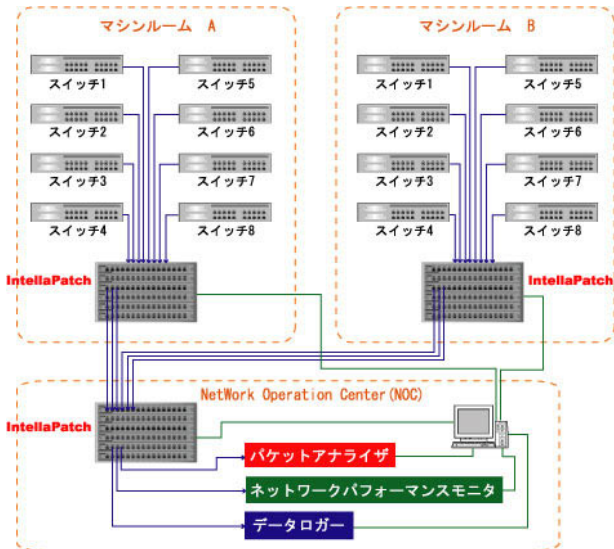
### 利用イメージ 2

1台のアナライザを複数のセグメントのモニタに使用します。ポート間のトラフィックを任意のポートから取り出すTAP接続により、アナライザを1つのポートに固定したまま、モニタが必要なセグメントを切り替えてモニタを行うことができます。

## NTELLAPATCH インテラPATCH の使用例

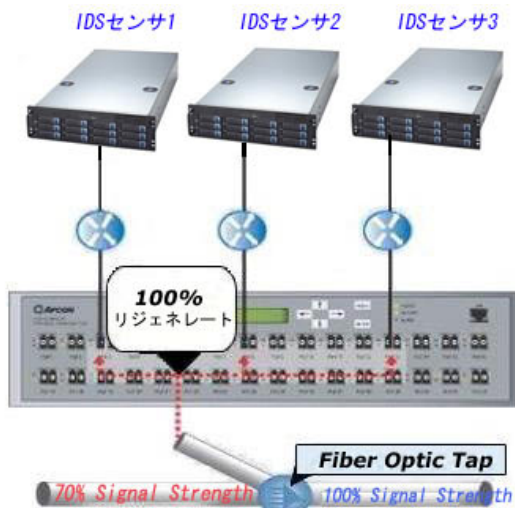
### 1 中規模ネットワークの管理

・モニターコストの削減に  
 ・トラブル原因の早期発見に  
 ・ネットワークダウンタイムの短縮に  
 ・MTTR改善に  
 各スイッチのミラー (スピン)ポートを IntelPatchに収容することで、必要に応じて適切なモニター機器を利用したネットワーク監視が行えます。ネットワークの規模にかかわらず、必要なときに必要な箇所をピンポイントでモニターします。



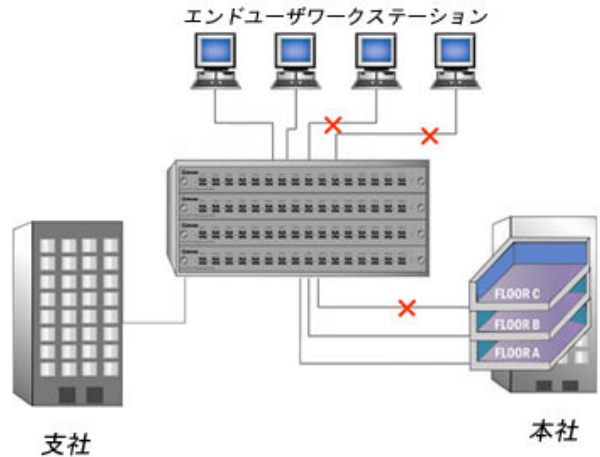
### 3. DS (Intrusion Detection System/侵入検知システム) の負荷分散配置による監視の強化

複数のモニターポートを NTELLAPATCHに割り当て、特定セグメントの監視を強化することが可能です。アナライザの代わりに DSを設置することで、DSの分散配置による不正侵入検知の確度を高めることが可能です。また、リジェネレート (各ポートでの信号再生) 機能により、モニター回線に挿入する光ファイバタップによる挿入損失を抑え、安全、確実にトラフィック各 DSに伝送します。また、トラフィック量の増加に伴い、既存の DSやネットワークを止めることなく、DSの増設が行えます。



### 2 物理層レベルでのセキュリティ管理

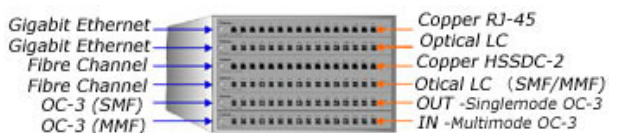
電気的にネットワーク接続を分離、分割します。特定セグメントからのアクセスを切り離したり、特定の時間帯にアクセス制限を加えることが可能です。パブリックスペースに設置したLANポートへみだりに接続され、ネットワークが不必要に外部にさらされることや、ウイルスを含む不要なトラフィックがネットワーク内に侵入することを防ぎます。



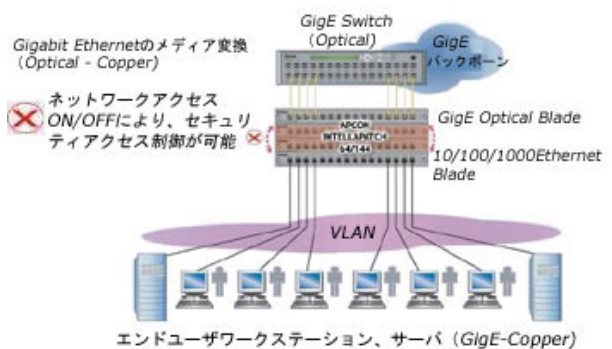
### 4 メディアコンバータ機能

NTELLAPATCHは、様々なインターフェースをサポートしていますので、メディアコンバータとしても利用することが可能です。例えば光での通信をUTPIに変換しながらアナライザでトラフィックをモニターすることが可能です。

(同一の通信速度間のみ変換可能)



OC-3 Singlemode OC-3 Multimode  
 OC-12 Singlemode OC-12 Multimode  
 Gigabit Ethernet Singlemode Gigabit Ethernet Multimode  
 Gigabit Ethernet Optical Gigabit Ethernet Copper  
 Fiber Channel Optical Fiber Channel Copper



## NTELLAPATCH インテラパッチ の構成 仕様

ハードウェア/本体	Series 3000	36 Port Chassis/Series 3000	72 Port Chassis/Series 3000	144 Port Chassis/Series 3000
マネジメントポート	シリアルインタフェース	Baud Rate : 115.2K baud 最大ケーブル長 : 15メートル コネクタ : RJ-45		
	LANポート(2ポート)	プロトコル : TCP/IP インタフェース : 10/100/1000 BASE-T コネクタ : RJ-45		
制御	Web GUIインタフェース (SSL対応) TITAN(専用ソフトウェア) CLI (Telnet, SSH) スクリプト			
機器諸元	ブレードスロット数	1	2	4
	筐体サイズ	43.7Wx 63.5Dx 4.5H (cm)	43.7Wx 63.5Dx 8.9H (cm)	43.7Wx 63.5Dx 17.8H (cm)
	筐体消費電力	120W	125W	250W
	電源モジュール数	2 (100-240VAC 50/60Hz)	2 (100-240VAC 50/60Hz)	4 (100-240VAC 50/60Hz)
	電源要求	15A/100VACx 2	20A/100VACx 2	20A/100VACx 4

ハードウェア/ブレード for Series 3000	
Blade for Series 3000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9 Port 10GBASE-SR (LCコネクタ)ブレード</li> <li>・9 Port 10GBASE-LR (LCコネクタ)ブレード</li> <li>・36 Port 10GBASE-SX (LCコネクタ)ブレード</li> <li>・36 Port 10GBASE-LX (LCコネクタ)ブレード</li> <li>・36 Port 10/100/1000BASE-T (RJ-45)ブレード</li> <li>・36 Port 1/2/4/8 Gbps Fibre Channelブレード</li> </ul>
NTELLAFLEX Blade for Series 3000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Type 4/8/12ブレード <ul style="list-style-type: none"> <li>4 Port 10/100/1000 BASE-T (RJ-45)</li> <li>8 Port SFP (1000BASE-SX/LX/T)</li> <li>12 Port SFP+ (10GBASE-SR/LR)</li> </ul> </li> <li>・Type 36ブレード <ul style="list-style-type: none"> <li>32 Port SFP (1000BASE-SX/LX/T)</li> <li>4 Port SFP+ (10GBASE-SR/LR)</li> </ul> </li> </ul>

ハードウェア/本体	Series 2000	16 Port Chassis/ Series 2000	32 Port Chassis/ Series 2000	64 Port Chassis/ Series 2000	144 Port Chassis/ Series 2000	288 Port Chassis/ Series 2000
マネジメントポート	シリアルインタフェース	Baud Rate : 9.6K baud 最大ケーブル長 : 15メートル コネクタ : DB-9				
	LANポート(2ポート)	プロトコル : TCP/IP インタフェース : 10/100/1000 BASE-T コネクタ : RJ-45				
制御	Web GUIインタフェース (SSL対応) TITAN(専用ソフトウェア) CLI (Telnet, SSH) スクリプト					
機器諸元	ブレードスロット数	1	2	4	9	18
	筐体サイズ (cm)	42.5Wx 38.1Dx 4.5H	42.5Wx 38.1Dx 5.3H	42.5Wx 38.1Dx 12.3H	42.5Wx 38.1Dx 25.0H	42.5Wx 38.1Dx 47.8H
	最大消費電力	200W	200W	200W	400W	800W

ハードウェア/ブレード	
Blade for Series 2000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4 Port 10GBASE-SRブレード</li> <li>・4 Port 10GBASE-LRブレード</li> <li>・16 Port 10GBASE-SXブレード</li> <li>・16 Port 10GBASE-LXブレード</li> <li>・16 Port 10/100/1000BASE-Tブレード</li> <li>・16 Port 1/2/48 Gbps Fibre Channelブレード</li> <li>・16 Port OC-3/12ブレード</li> <li>・8 Port T1/E1/J1 (RJ-45)ブレード</li> </ul>

ソフトウェア		
標準実装機能	WEBユーザインタフェース	アクセス制限機能
	コマンドライン・インタフェース	物理ポートの利用範囲指定
	物理アクセスポートのパッチ接続	物理ポートの使用期限設定
	ユーザ認証機能	メンテナンス機能
オプション	NETVIS ネットワーク接続監視ツール	
	ENTERPOINT ネットワーク接続管理ツール	

\*本資料に記載された仕様、デザインなどは、予告なしに変更することがあります。



### 日本ダイレックス株式会社 ISO9001認証取得

東京本社 / 〒101-0047 東京都千代田区内神田 2丁目 5番 5号 城南ビル Tel 03-5207-7160  
 大阪支店 / 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 2丁目 1番 4号 MF新大阪ビル Tel 06-6394-5751  
 名古屋支店 / 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄 3丁目 2番 3号 名古屋日興証券ビル Tel 052-269-8680  
 福岡営業所 / 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 1丁目 9番 1号 大成博多駅東ビル Tel 092-473-8561

製品に関するお問合せ : Tel 03-5207-7160 Fax 03-5296-1918 Email sales@direx.com URL http://www.direx.com

© JAPAN DIREX CORPORATION 20100623

APCON Solutions for Networks  
**INTELLAPATCH®**  
インテラパッチ

レイヤ1 スwitchング  
ソリューション

## オプション for NTELLAPATCH Series 3000

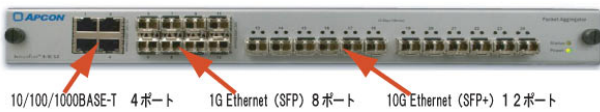


写真は、NTELLAPATCH Series 3000です。

NTELLAFLEX Blade インテラフレックス・ブレード  
NTELLAFLEX Blade インテラフレックス・ブレードは、Series 3000専用拡張ブレードです。

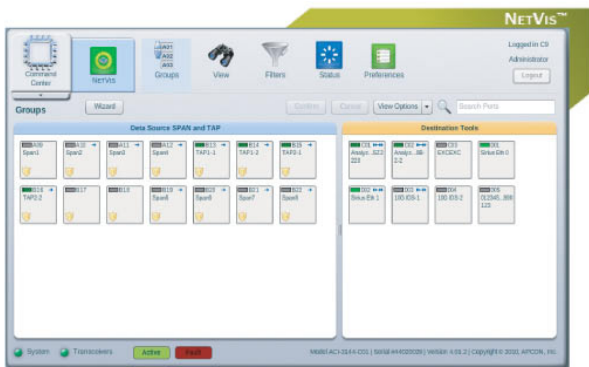
本製品は、複数ラインのデータを統合する「アグリゲーション」とデータを絞り込む「フィルタリング」の機能を有しているため、既存のNTELLAPATCH インテラパッチに、更なる利便性を付加する事が可能となります。

「アグリゲーション」と「フィルタリング」の設定は、ノーマルブレードと同じGUI WEB X から行うことが出来るので、操作の煩わしさは有りません。「アグリゲーション」の設定は、確認ビューにより視認が容易で、また、「フィルタリング」の設定は、右下図のように、ドロップダウンリストから迅速に適用することが可能です。

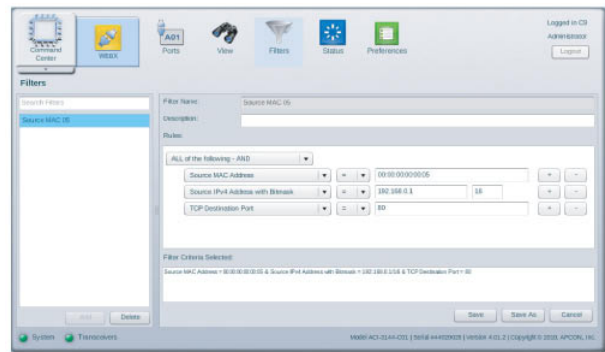


### ネットビス NETVIS ネットワーク接続監視ツール

モニタリングのオペレーション効率を高めた、シンプルなGUI  
下の図では、左側に監視対象となるデータソースとして、スイッチのSPANポート、ならびにネットワークタップのポートが配置されています。右側には、アナライザ、DS等各種モニタ装置が配置されています。オペレータは、必要に応じて任意のポートを選択し、接続・適用の数クリックだけで、簡単に監視対象ラインとモニタツールの接続・切替が行えます。



アグリゲーション確認ビュー



フィルタ設定ビュー

### エンターポイント ENTERPOINT ネットワーク接続管理ツール

モニタポイントと接続デバイスの統合管理プラットフォーム。多数のモニタリングセッションの包括的な制御と管理を実現。

【監視ポイントとモニタ装置の選択 フィルタの適用 タイムフレームの設定 接続】これら一連のモニタリングセッション構築が数クリックで可能です。また、モニタリング完了時にデバイスの設定をデフォルトにリセットする機能により、次回の接続・新たな接続を確立する際の、設定作業を省力化します。

